

森林内の放射性物質の分布状況と経時変化

エリアA-2

(1) 森林内における放射性セシウムの分布と経時変化

○福島県内の3試験地の調査結果(林野庁)

- 樹木に沈着した放射性セシウムは、雨による溶脱や落葉などで地表へ移動し、森林内の分布は1年間で大きく変化。
- 落葉層における放射性セシウム蓄積量が減少。
- 森林の状態による違いも大きい。



2011年と2012年における調査地に蓄積する放射性セシウムの部位別分布割合

調査地	川内村 (福島第一原発から26km)		大玉村 (福島第一原発から66km)		只見町 (福島第一原発から134km)	
樹種	スギ林	スギ林	アカマツ林	コナラ林	スギ林	スギ林
2011年		(未測定)				
2012年						

(注1) 落葉層: 土壌の上にある落葉や落枝とそれらの腐朽した腐食からなる堆積有機物層

(注2) 放射性セシウムの総量はp20「エリアC-1」を参照。

(出典) 林野庁(森林総合研究所): 森林内の放射性物質の分布状況調査結果について(平成25年3月29日) 4